

新琴似北中学校改築に対する意見募集結果について

1 意見募集の経緯について

札幌市では、新琴似北中学校の改築を計画しており、去る令和4年12月14日に改築に係る説明会を行い、令和5年1月27日まで、改築計画案に対するご意見を募集しておりました。その間にいただいたご意見と市からの回答について、お知らせいたします。

2 寄せられたご意見と市からの回答

意見・質問	回 答
<p>新琴似北中学校は今後ゆるやかに生徒数が増加していくと思われ、計画上の普通教室数では不足していると考えます。</p> <p>20程度の普通教室数を確保した方が良いのではないかと。</p>	<p>校舎改築は、将来の児童生徒数を推計し、工事着手年度の学級数に応じた補助資格面積（文科省の定める基準）の範囲内で行っております。</p> <p>新琴似北中学校については、工事着手時の普通学級の想定が11学級となっており、この先6年間においても、最大13学級を見込んでいることから、改築計画案でお示した校舎規模としております。</p> <p>また、近年の整備事例校につきましては、既存校舎の規模を上回る結果が続いておりましたが、新琴似北中学校のように、児童生徒数の推計次第では、新校舎が既存校舎よりも小規模になります。</p>
<p>既存校舎よりも新校舎の面積が小さくなっており、近年の整備事例では珍しいが、なぜ小規模になっているのか。</p>	<p>敷地面積の有効活用という観点では、校舎を高くする方が有利となるため、4階建て案も検討いたしました。3階建て案でも十分なグラウンド面積を確保できることや、近隣住戸への日影、日々の教室の使い勝手なども考慮し、3階建て案で計画することといたしました。</p>
<p>近年の整備事例では、校舎を高層化していることが多いが、新琴似北中学校は4階から3階に低くしている。敷地面積の有効活用という観点では高くする方が合理的な考えだと思ふ。</p> <p>近隣住戸への日影対策であれば、校舎の一部を高くする等、方法はあると思ふが、3階にした理由はあるのか。</p>	<p>現在の校舎にも備蓄庫は設置されていますが、新校舎においても、屋内運動場の地域開放エリアに備蓄庫を整備</p>
<p>災害時の避難場所となると思ふが、非常食や毛布などの備蓄物資は配備されるか。</p>	

意見・質問	回 答
また、AED の設置予定はあるか。	<p>し、その中に非常食等の備蓄物資を配備します。</p> <p>また、AED は学校種問わず、1 校に1 台設置しております。</p>

3 今後のお問い合わせ先について

新琴似北中学校の改築に係るご意見・ご質問については、今後も随時受け付けておりますので、ご不明な点などございましたら、下記までお問合せください。

【お問い合わせ先】

- 新琴似北中学校改築に係る設計・工事についてのお問い合わせ
札幌市都市局建築部建築工事課 電話：011-211-2824
- 本紙についてのお問い合わせ
札幌市教育委員会生涯学習部学校施設課 電話：011-211-3835